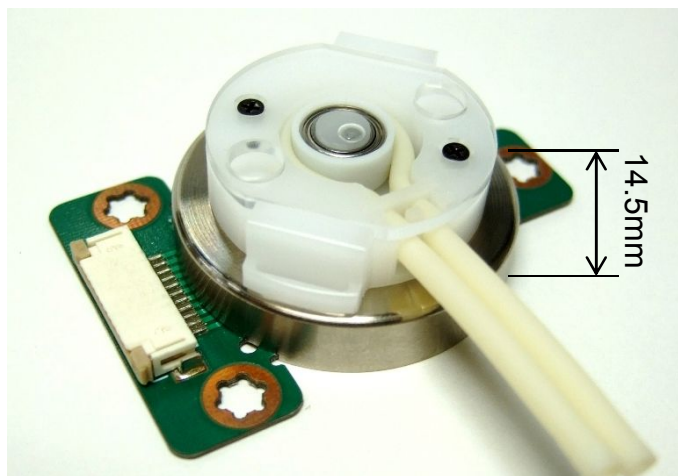


小型チューブポンプユニット



チューブポンプとは

ローラまたはタイヤ(リング)によりチューブを圧迫して押し潰し、吐出方向へ順次移動することによって液体及び気体を搬送する方式のポンプです。チューブ復元により吸引を行うため吐出・吸引を繰り返し、連続したポンプ動作が可能となります。

<主な特徴>

- 自吸式で呼び水が不要
- 構造がシンプルで、シール・弁構造が不要
- 各液体・気体が接触するのはチューブのみ
⇒ 衛生的に薬液等の搬送ができ、
チューブの種類により各種薬液に対応可能
- 高吐出圧を実現

製品特徴

○ 小型、薄型ポンプにより機器小型化が可能

全高: 14.5mm、全長: 50mm
ポンプ部外径: $\phi 26\text{mm}$ 、モータ部外径: $\phi 33\text{mm}$

○ 幅広い吐出量範囲

2~70ml/min

※(チューブ径・材質、回転数の組み合わせにて)
代表値は下図左を参照

○ 気体・液体/気液混合でも搬送可能

水・薬液及び空気・ガス等の搬送が可能

※粘性が大きくなると流量は低下します。
10P(水の100倍)で流量は1/5程度まで低下

○ 長寿命化の実現

ブラシレスモータを採用し、
偏心リングでチューブを圧迫するポンプ方式を採用
モータ寿命: 10000h(※)
ポンプ寿命: 4000h(※)

※目標値となります。詳細は別途ご相談下さい。
寿命は環境、仕様(チューブ、回転数等)条件により異なります。

○ 高吐出圧の実現

100kPa(1気圧)以上

吐出流量に対して吐出圧がほぼ一定 ※下図右を参照

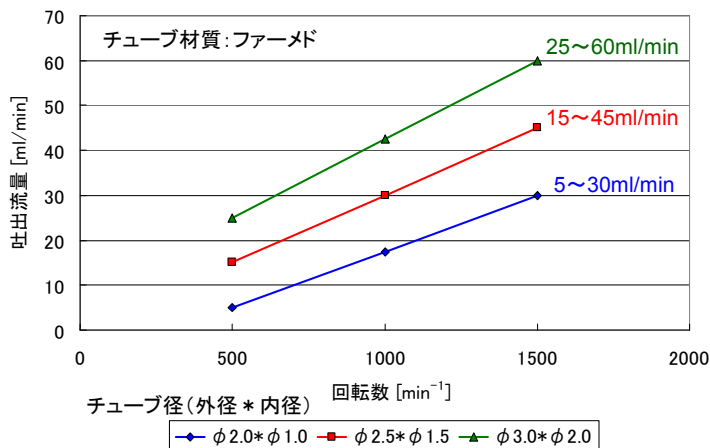
○ ポンプ交換が容易 ※特許出願中

簡単にポンプ部とモータ部の着脱が可能

※裏面の「ポンプ着脱方式」参照

○ 回転数－吐出流量特性 (※水使用)

回転数と吐出流量の関係(参考) 12V仕様



※図は代表的な数値によるもの

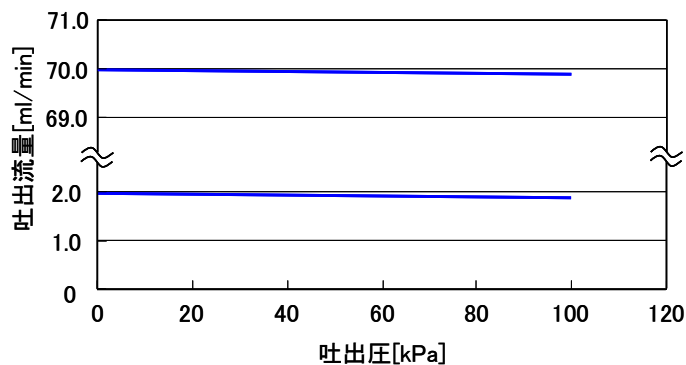
(チューブ材質、回転数の組み合わせにより異なります)

※5ml/min以下は $\phi 1.5 * \phi 0.5$ チューブにて対応可能です。

(吐出流量は約2~10ml/min)

○ 吐出圧－吐出流量特性 (※水使用)

吐出圧と吐出流量の関係



- ・ 100kPa(1気圧)以上の高吐出圧を実現
- ・ 吐出圧に対する吐出量がほぼ一定

TEL: (03) 5360-6101 FAX: (03) 5360-6106